



決算説明資料 2024年12月期第2四半期

2024年8月7日

日清紡ホールディングス株式会社

NISSHINBO

1. 2024年12月期第2四半期 決算概要
2. 付表 セグメント別売上・営業利益
3. 日立国際電気 事業紹介

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、その達成を約束するものではありません。

決算ハイライト

	23/12期 2Q (1-6月)	24/12期 2Q (1-6月)	前期比		(百万円) 24/12期 予想
				増減率	
売上高	269,367	240,022	-29,345	▲10.9%	513,000
営業利益	12,000	6,715	-5,284	▲44.0%	24,000
経常利益	15,771	11,092	-4,679	▲29.7%	26,000
親会社株主に帰属する 中間純利益	11,627	8,936	-2,691	▲23.1%	19,000

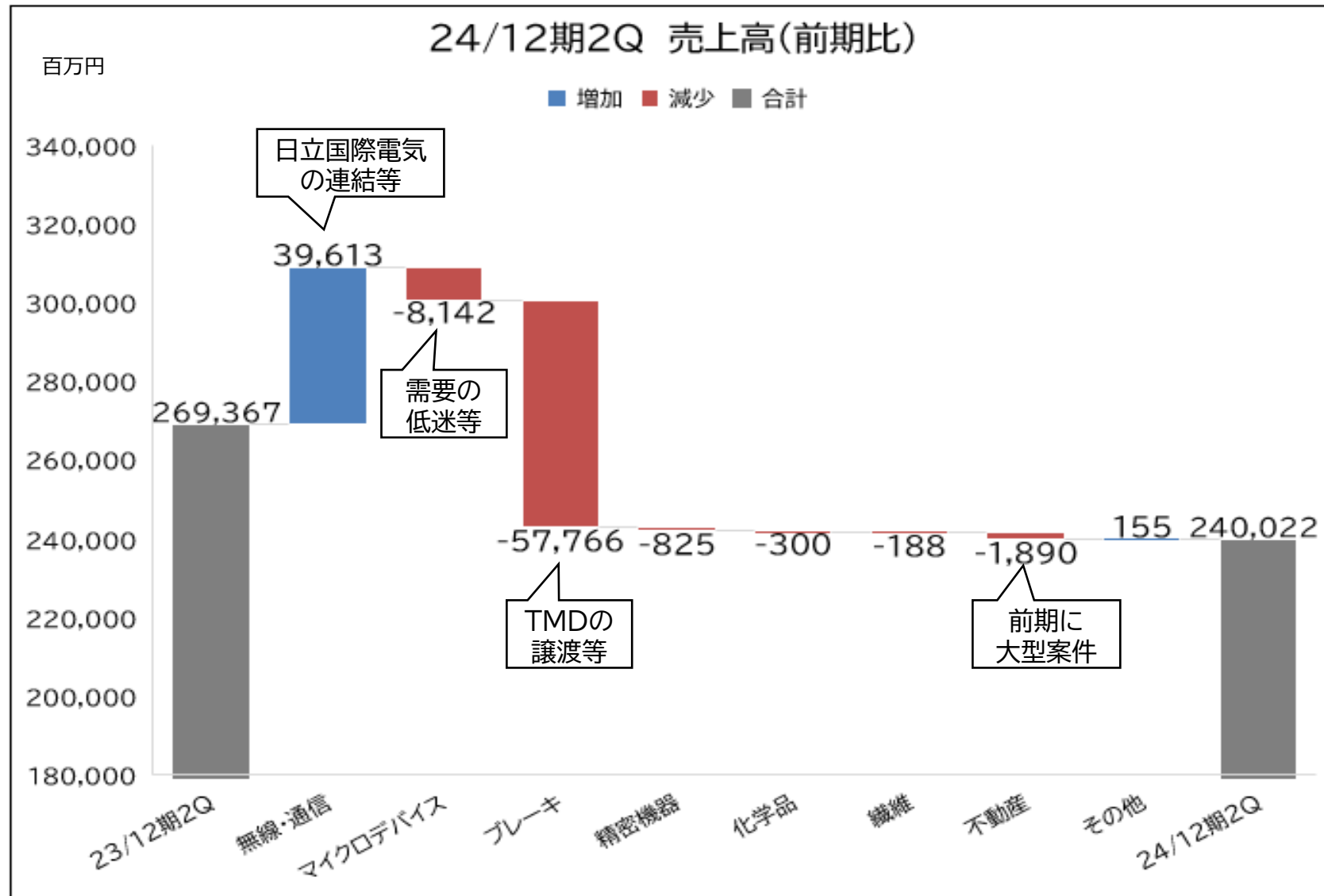
- 日立国際電気グループの経営成績を期首から反映したこと等により無線・通信事業は増収・増益も、前年度にTMDグループを譲渡したことによるブレーキ事業の減収やマイクロデバイス事業の損益悪化、不動産事業の減益等により、グループ全体では減収・減益となった
- 通期見通しについては、セグメント毎に増減はあるものの、グループ全体では期初の見通しを据え置く

2024年12月期2Q 前期比(セグメント別)

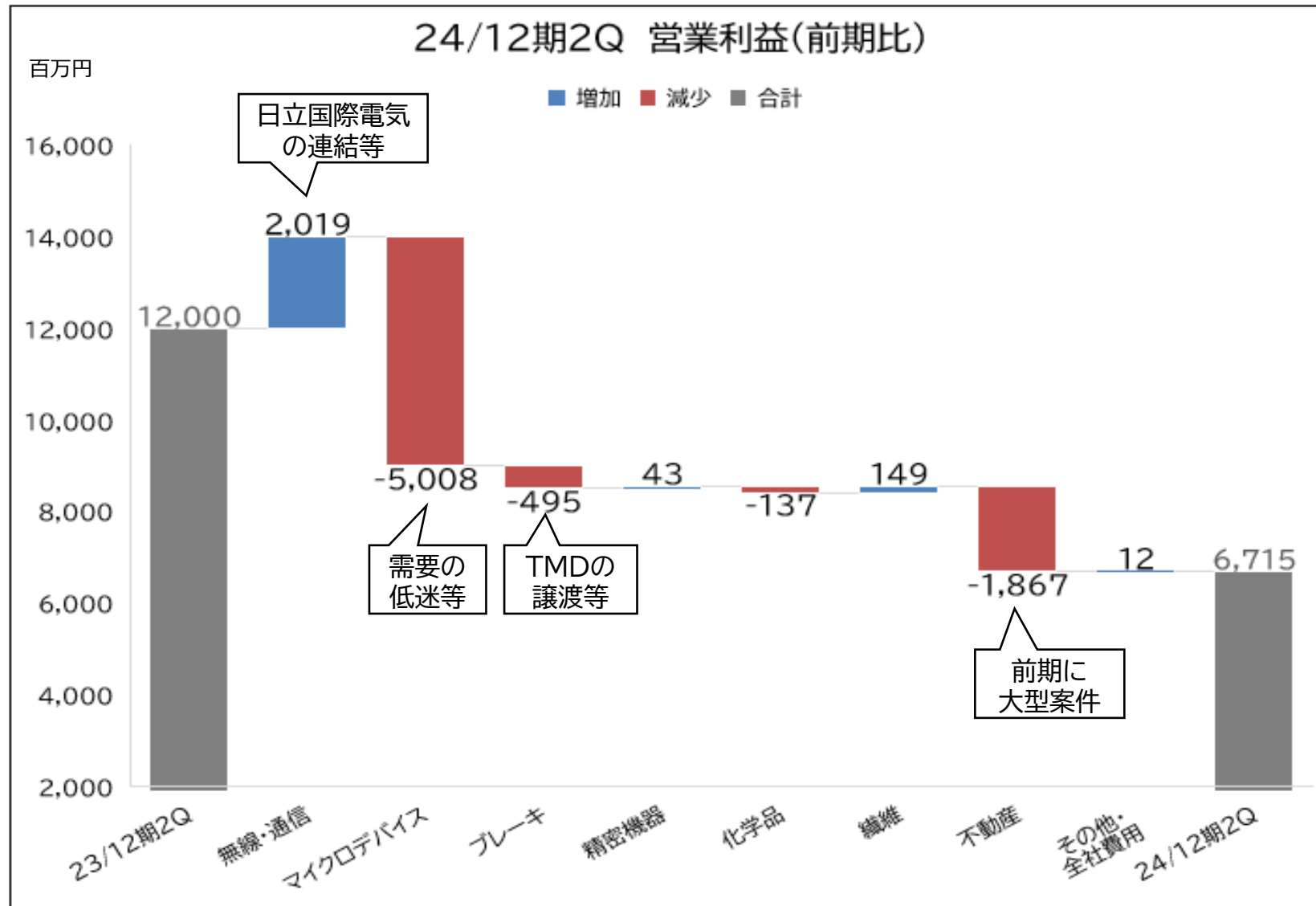
(百万円)

		23/12期	24/12期	前期比	
		2Q (1-6月)	2Q (1-6月)		増減率
無線・通信	売上高	78,414	118,027	+39,613	+50.5%
	営業利益	3,753	5,772	+2,019	+53.8%
マイクロデバイス	売上高	39,275	31,132	-8,142	▲20.7%
	営業利益	2,261	-2,747	-5,008	-
ブレーキ	売上高	86,527	28,761	-57,766	▲66.8%
	営業利益	1,605	1,110	-495	▲30.9%
精密機器	売上高	26,586	25,761	-825	▲3.1%
	営業利益	423	467	+43	+10.1%
化学品	売上高	5,774	5,474	-300	▲5.2%
	営業利益	452	315	-137	▲30.3%
繊維	売上高	18,574	18,386	-188	▲1.0%
	営業利益	-313	-163	+149	-
不動産	売上高	8,744	6,853	-1,890	▲21.6%
	営業利益	7,089	5,222	-1,867	▲26.3%
その他	売上高	5,470	5,625	+155	+2.8%
	営業利益	-3,273	-3,260	+12	-
合計	売上高	269,367	240,022	-29,345	▲10.9%
	営業利益	12,000	6,715	-5,284	▲44.0%

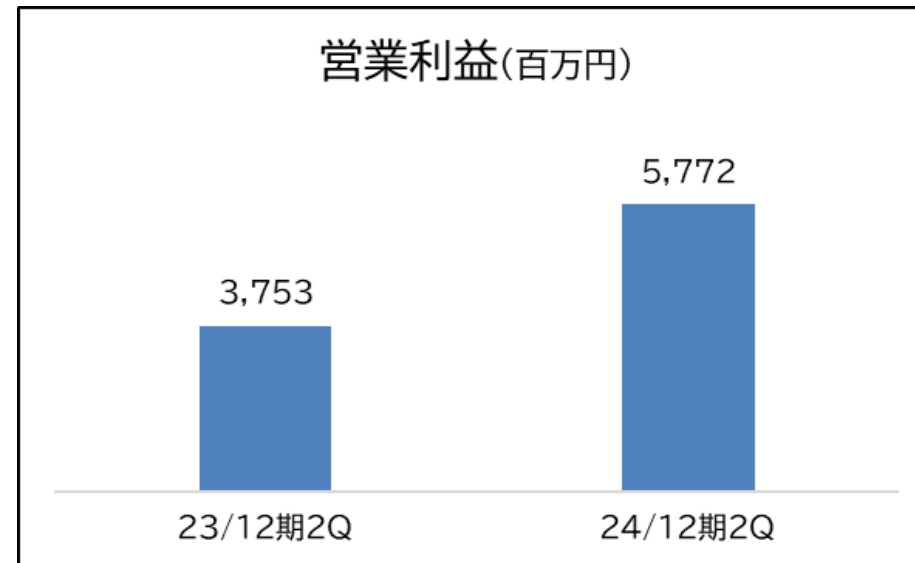
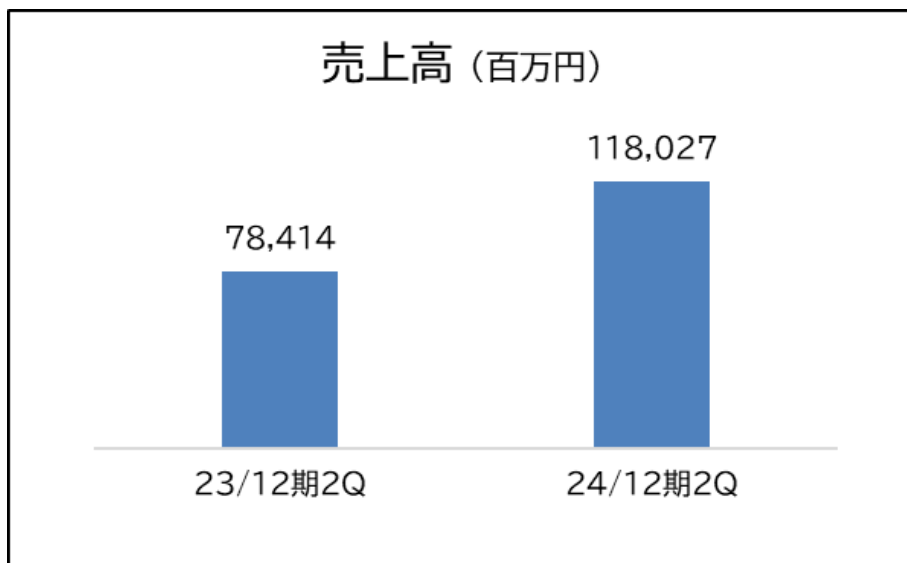
2024年12月期2Q 前期比(売上)



2024年12月期2Q 前期比(営業利益)

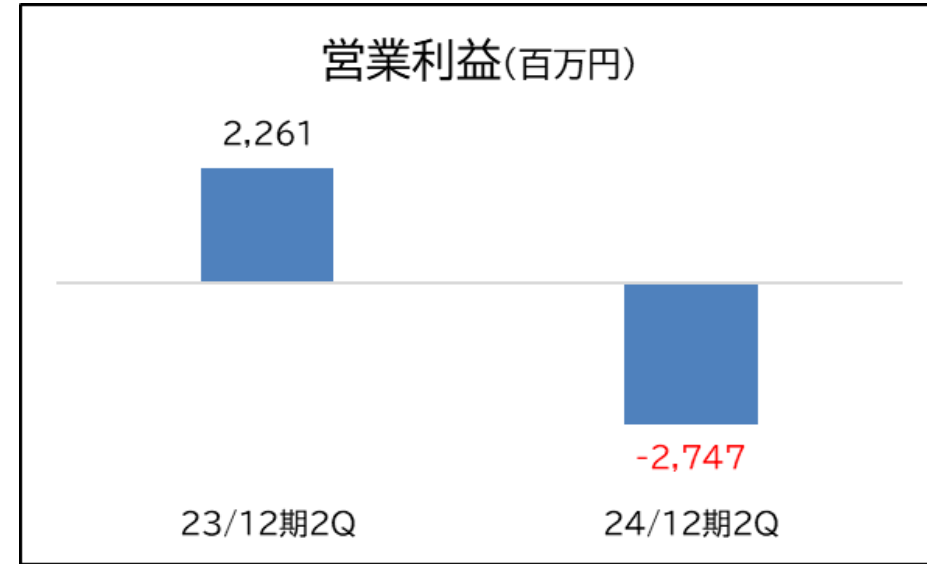
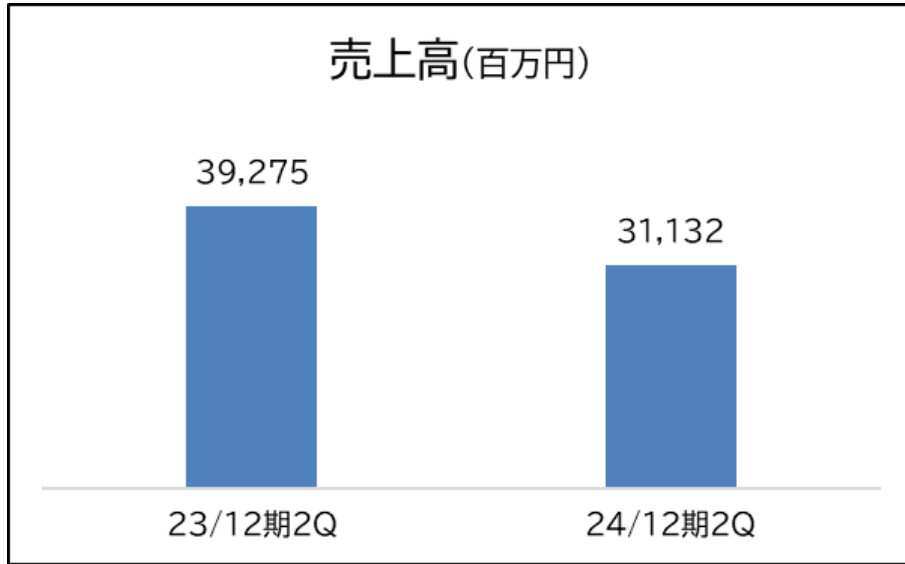


2024年12月期2Q 無線・通信



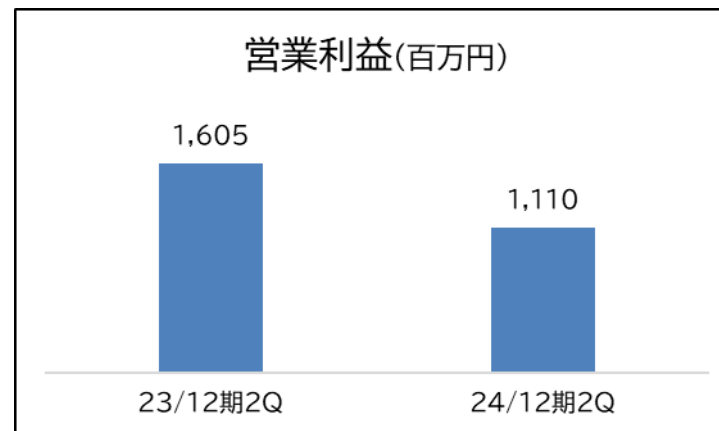
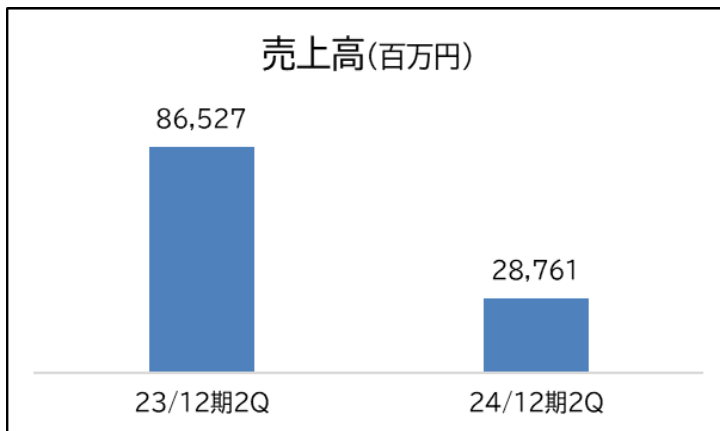
- 日立国際電気の連結子会社化： 売上+365億円、営業利益+33億円
- マリンシステムで商船新造船機器や商船換装用機器、欧州河川市場向けワークボート用機器が好調に推移： 売上+53億円、営業利益+12億円

2024年12月期2Q マイクロデバイス

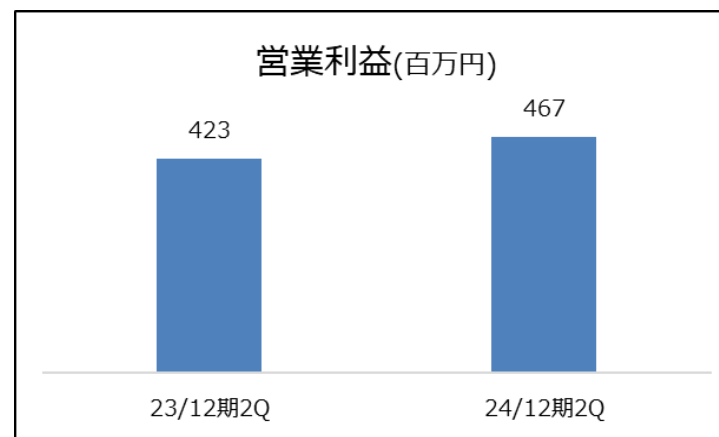
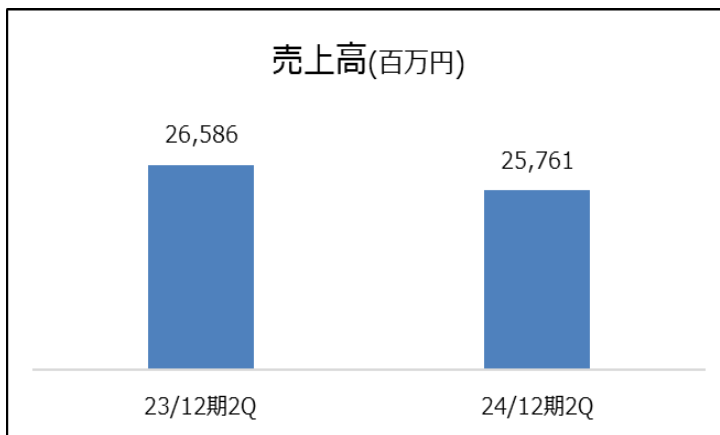


- 車載製品： EV市場の成長鈍化を受け減少
- 産機製品： 中国向け需要低迷に伴う国内顧客を中心とした在庫調整により減少
- 民生品： スマートフォン・PC関連市況は底打ちしたものの、顧客の在庫調整等があり回復の勢い鈍い

2024年12月期2Q ブレーキ・精密機器

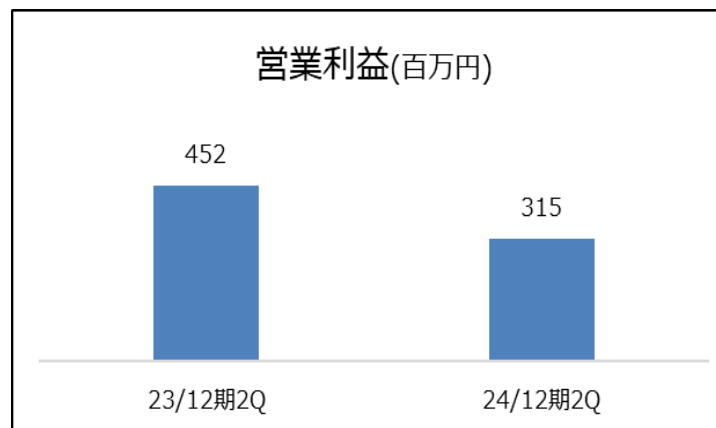
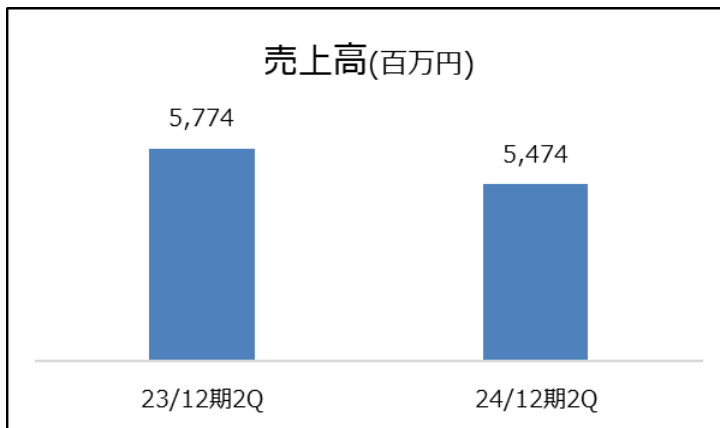


- ブレーキ： TMDグループを譲渡した影響で、ブレーキ事業全体としては減収・減益
日・米・韓の拠点はカーメーカーの生産回復に加え、価格転嫁が進み増収・増益

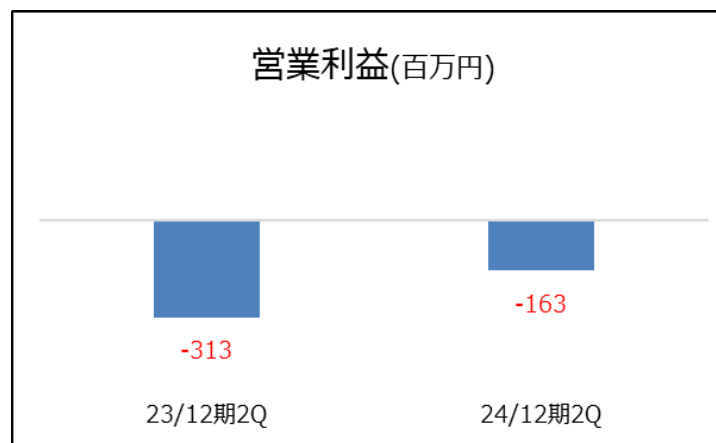
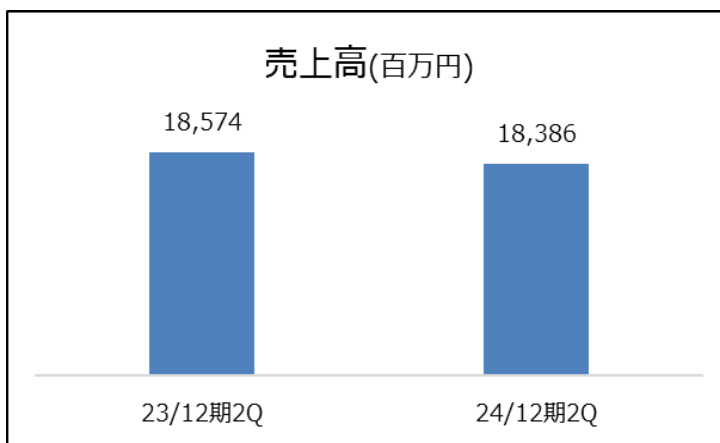


- 精密機器： 精密部品は、自動車用EBS部品が堅調に推移し増収・増益
成形品事業は、空調関連製品の顧客の生産回復遅れや車載関連製品の一時的な受注減等により減収も、自動化・省人化等のコスト低減により増益

2024年12月期2Q 化学品・繊維



- 化学品： 燃料電池用カーボンセパレータは、海外定置用の受注減により減収・損失拡大
機能化学品は、海外向け生分解性樹脂、水性樹脂および自動車関連部品の受注増により増収・増益



- 繊維： シャツ事業およびユニフォーム事業は市況回復の遅れから減収・損失拡大も、
ブラジル拠点の受注回復等により、減収・損失縮小

1. 2024年12月期第2四半期 決算概要
2. 付表 セグメント別売上・営業利益
3. 日立国際電気 事業紹介

セグメント別売上・営業利益

(単位：百万円)

当期

セグメント	サブセグメント	23/12期	
		売上高	営業利益
無線・通信	マリンシステム	43,938	2,811
	(日本無線)	62,792	946
	(日立国際電気)	-	-
	ソリューション・特機 計	62,792	946
	モビリティ他 ※1	54,216	999
	消去等	-2,865	-11
合計		158,081	4,745
マイクロデバイス		80,044	934
ブレーキ	日清紡ブレーキ	63,155	1,760
	TMD	122,043	2,761
	消去等	-6,661	160
	合計	178,541	4,682
精密機器		53,265	1,328
化学品		11,433	801
繊維		37,481	-420
不動産		11,263	8,518
その他・全社費用等		11,100	-8,137
連結合計		541,211	12,453

23/12期 2Q(1-6月)		24/12期 2Q(1-6月)		前期比	
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
19,131	1,025	24,459	2,257	5,328	1,232
36,441	2,970	34,226	304	-2,215	-2,666
-	-	36,565	3,339	36,565	3,339
36,441	2,970	70,791	3,643	34,350	673
24,326	-212	24,472	-39	146	173
-1,486	-31	-1,695	-89	-209	-58
78,414	3,753	118,027	5,772	39,613	2,019
39,275	2,261	31,132	-2,747	-8,142	-5,008
29,124	315	31,427	988	2,303	673
60,033	986	-	-	-60,033	-986
-2,630	304	-2,668	119	-38	-185
86,527	1,605	28,761	1,110	-57,766	-495
26,586	423	25,761	467	-825	43
5,774	452	5,474	315	-300	-137
18,574	-313	18,386	-163	-188	149
8,744	7,089	6,853	5,222	-1,890	-1,867
5,470	-3,273	5,625	-3,260	155	12
269,367	12,000	240,022	6,715	-29,345	-5,284

24/12期予想(2/9)		24/12期予想(8/7)		差異	
売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
42,400	1,600	45,700	2,700	3,300	1,100
66,300	1,200	63,000	100	-3,300	-1,100
68,000	3,600	68,000	3,600	0	0
134,300	4,800	131,000	3,700	-3,300	-1,100
58,000	1,700	58,000	1,700	0	0
-3,700	-100	-3,700	-100	0	0
231,000	8,000	231,000	8,000	0	0
88,000	3,900	78,000	-2,400	-10,000	-6,300
60,000	1,400	64,000	2,200	4,000	800
-	-	-	-	0	0
-5,000	0	-5,000	0	0	0
55,000	1,400	59,000	2,200	4,000	800
57,000	2,300	57,000	2,300	0	0
13,000	1,300	13,000	1,300	0	0
40,000	900	40,000	900	0	0
17,000	11,500	22,500	17,000	5,500	5,500
12,000	-5,300	12,500	-5,300	500	0
513,000	24,000	513,000	24,000	0	0

※1 JRCモビリティ、ICTメカトロニクス、医用機器、その他

1. 2024年12月期第2四半期 決算概要
2. 付表 セグメント別売上・営業利益
3. 日立国際電気 事業紹介

日立国際電気 事業概要

代表取締役 社長執行役員

佐久間 嘉一郎

2024年 8月 7日

日清紡グループにおける当社の位置付け

日清紡グループの目指す姿＝当社の目指す姿

1. 目指す姿

日清紡グループの目指す姿



- 日清紡グループは「事業活動を通じて社会に貢献すること」を使命とし、社会に貢献できる領域を軸に事業の組み換えを続けてきた
- これからもグループの強みを活かしたソリューションを提供することで、社会課題の解決に貢献することを目指す

目指す姿

つなげる技術で価値を創る

Connect Everything, Create Value

センシング・無線通信・情報処理技術で、社会課題へソリューションを提供します

当社を取り巻く中長期的な事業環境変化および事業機会

気候変動対策への要請の高まり

- ✓ 温室効果ガス排出量削減や省エネに貢献する製品へのニーズの増加
- ✓ 激甚化する災害への対応ソリューションが益々重要に

人口動態の変化(少子高齢化・労働力不足)

- ✓ 産業機器・交通の自動化による省人化や安全性向上に対する需要拡大
- ✓ 遠隔医療・見守りサービス等へのニーズの増加

デジタル社会の発展

- ✓ サイバー空間とフィジカル空間がシームレスにつながる社会が到来
- ✓ 個人のニーズを捉えた情報・製品・サービスの提供や、あらゆるプロセスの省人化・自動化・効率化が拡大

日清紡グループ企業理念

挑戦と変革。地球と人びとの未来を創る。

中期経営計画2026 |

日清紡グループにおける当社の位置付け

当社の目指す姿

業務システム（サイバー空間）

と

現場（フィジカル空間）

の

連携により課題解決・価値創造を実現

- 「現場」をセンシングによりデータ化
- 収集データを「業務システム」へ伝送・蓄積
- 蓄積データを分析・解析し知見を創造
- 知見を「現場」へ展開して活用



お客さま(公共)

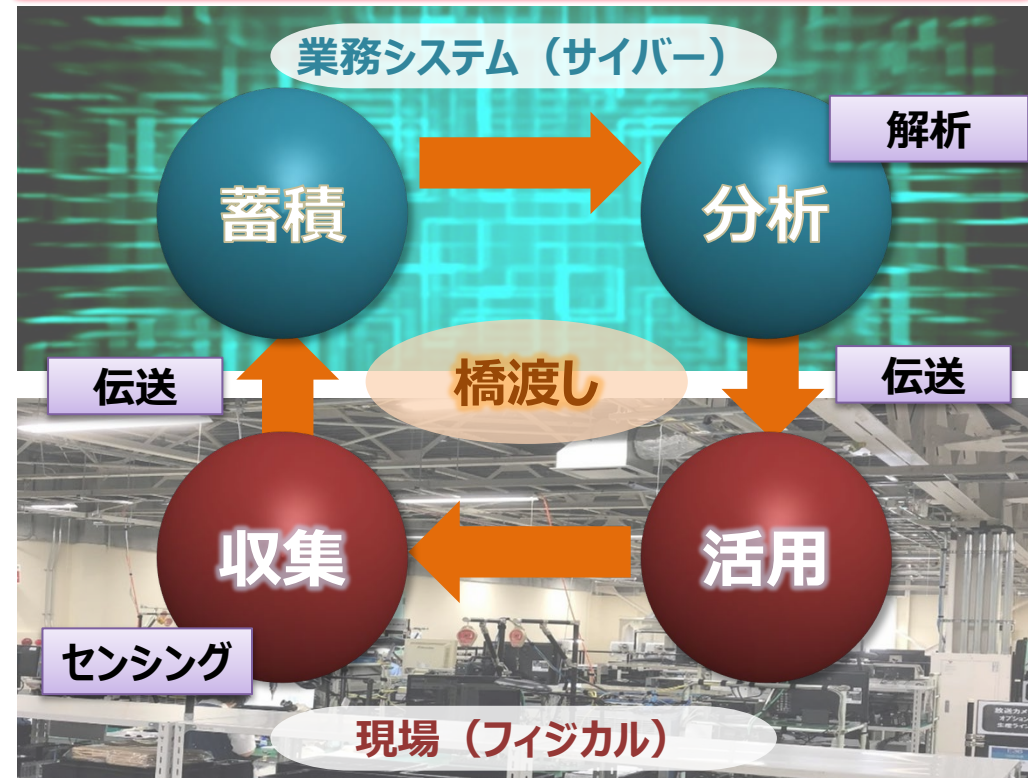


お客さま(社会インフラ)



お客さま(産業)

安心・安全を創る

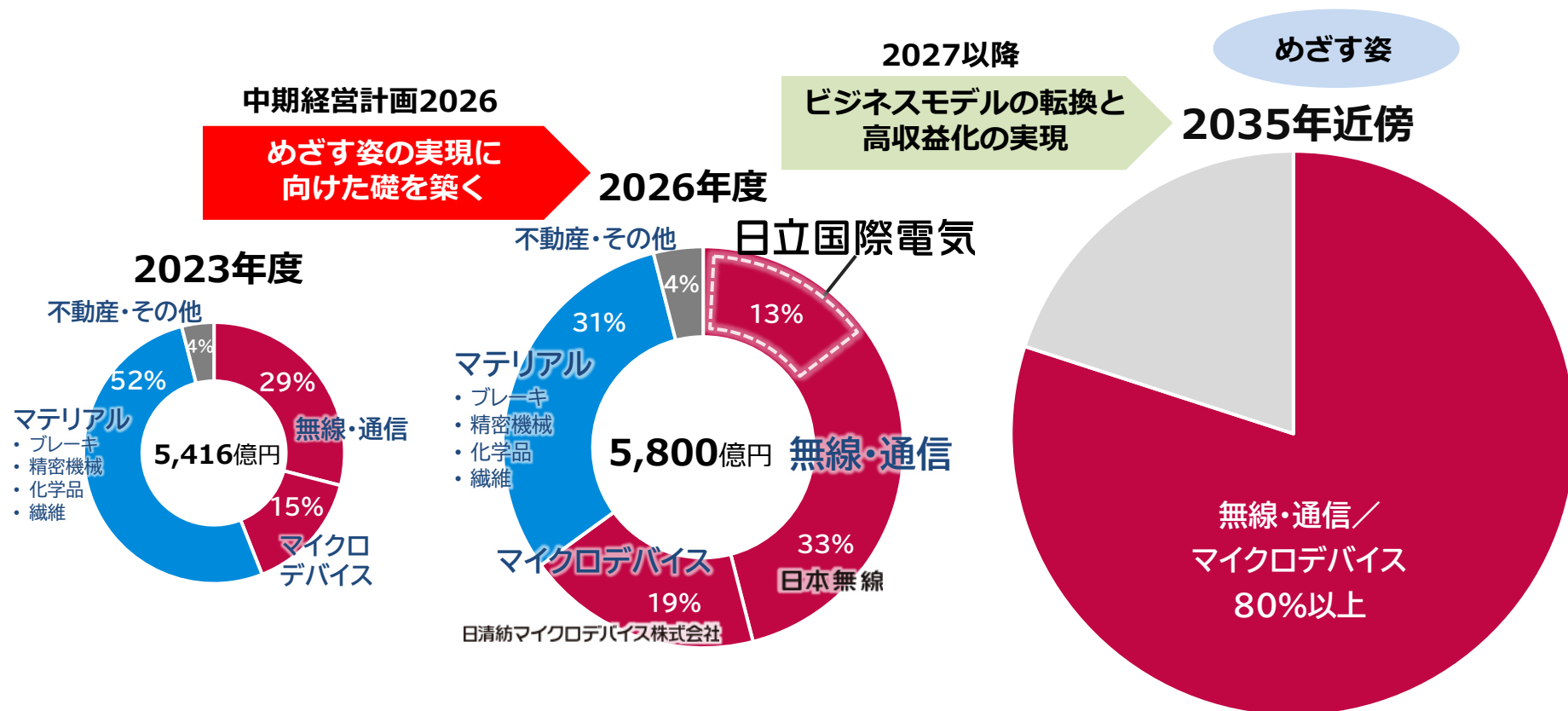


持続可能な社会を「モノづくり」で支え、安心・安全を創る

先端技術の研究開発と特徴ある映像・無線技術に立脚する製品開発を推進

日清紡グループにおける当社の位置付け

中核会社の一つとして、2035年近傍のグループの
“目指す姿” = 無線・通信／マイクロデバイス事業で全体の80%
の実現に向けて当社の事業で貢献する



成長への挑戦

新事業・新分野の開拓による成長への挑戦

- 5G/AI 関連技術をコアとした領域での顧客協創により、顧客ニーズを発掘し、ソリューションの創出・事業化に注力し、事業ポートフォリオの転換を推進
- 日清紡グループ連携で新たな事業戦略を策定

ソリューション事業

従来からの官公需市場に加えて、市場ニーズの変化に対応した提案により、国内外の民需市場の開拓に取り組み、成長へ挑戦

プロダクト事業

製品ライフサイクルの全域にわたるバリューチェーンをグループ全体で再整備し、Hi-MA※に基づく“日本品質”の未来に誇れるモノづくりにより製品開発を推進

※:Hi-MA:当社の標準化されたモノづくりアーキテクチャ

特機事業

日本の新たな防衛戦略(通信・サイバー・電磁波)に対応する体制拡充を図り、新製品・システムの開発に取り組み、事業拡大をめざす

日立国際電気の4つの強み

日立国際電気の強みを活かして
日清紡グループの無線・通信事業の成長に貢献

- Hi-MA※に準拠した製品・システム開発の推進
- 日立国際電気グループによるワンストップビジネス
- ソリューションビジネスの推進
- 継続的な構造改革への推進

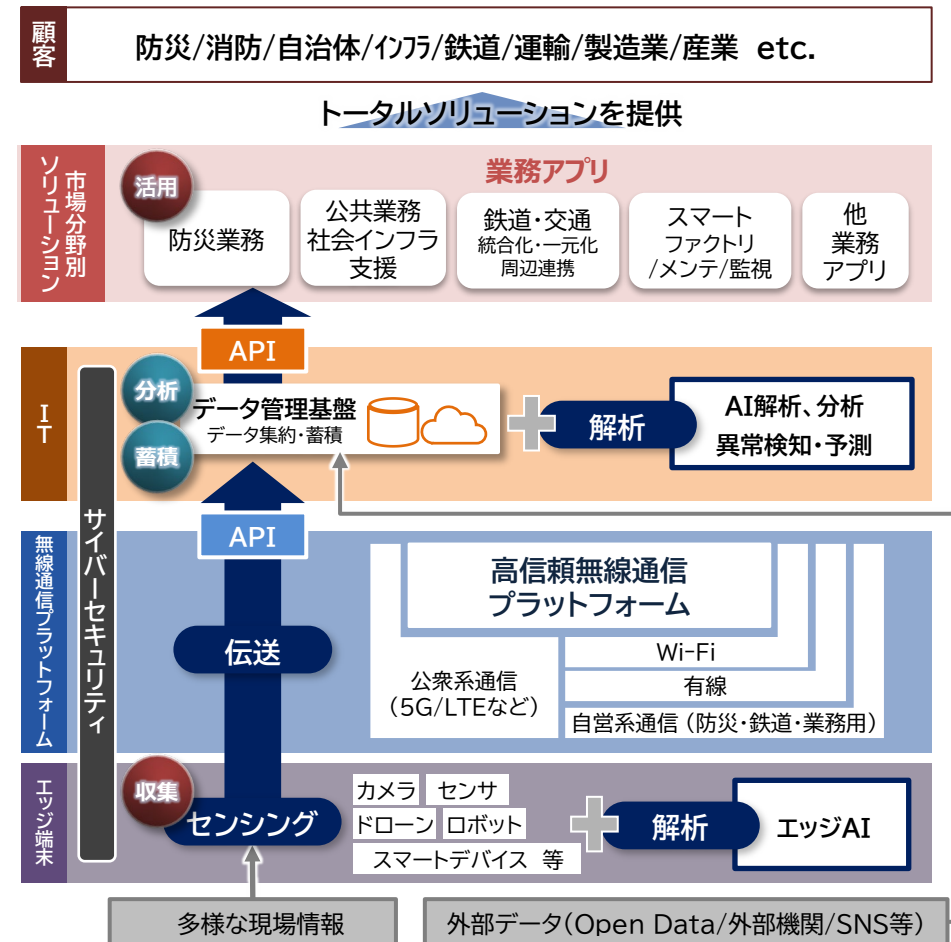
※: Hi-MA; 当社の標準化されたモノづくりアーキテクチャ。当社のプロダクトからシステム・ソリューションに至るまで、すべての開発は本アーキテクチャに準拠。階層化・共通化されたプラットフォームの上に業務をITシステムとして実現するシステム形態。

4つの強み ①Hi-MAによる製品・システム開発

Hi-MA準拠製品を活用したシステムにより
顧客ニーズに対応したトータルソリューションの提供・価値創出

Hi-MAの特長

- 日本品質の未来に誇れるモノづくりの実現
- 階層化・共通化設計による高機能で高品質な製品、システムの実現
- 各種無線通信方式を統一的にサポートする高信頼無線通信プラットフォームの提供
- 多様な無線通信環境を構築してきた経験に基づく最適な無線通信環境の実現・提供
- 顧客ニーズに応じた各種ソリューションの提供とAPIを活用した柔軟なカスタマイズによる最適化システム構築の実現
- データ管理基盤により業務アプリからビッグデータ活用を可能とし、エッジAI解析との連携による高度な情報解析、制御の実現



4つの強み ②ワンストップビジネス

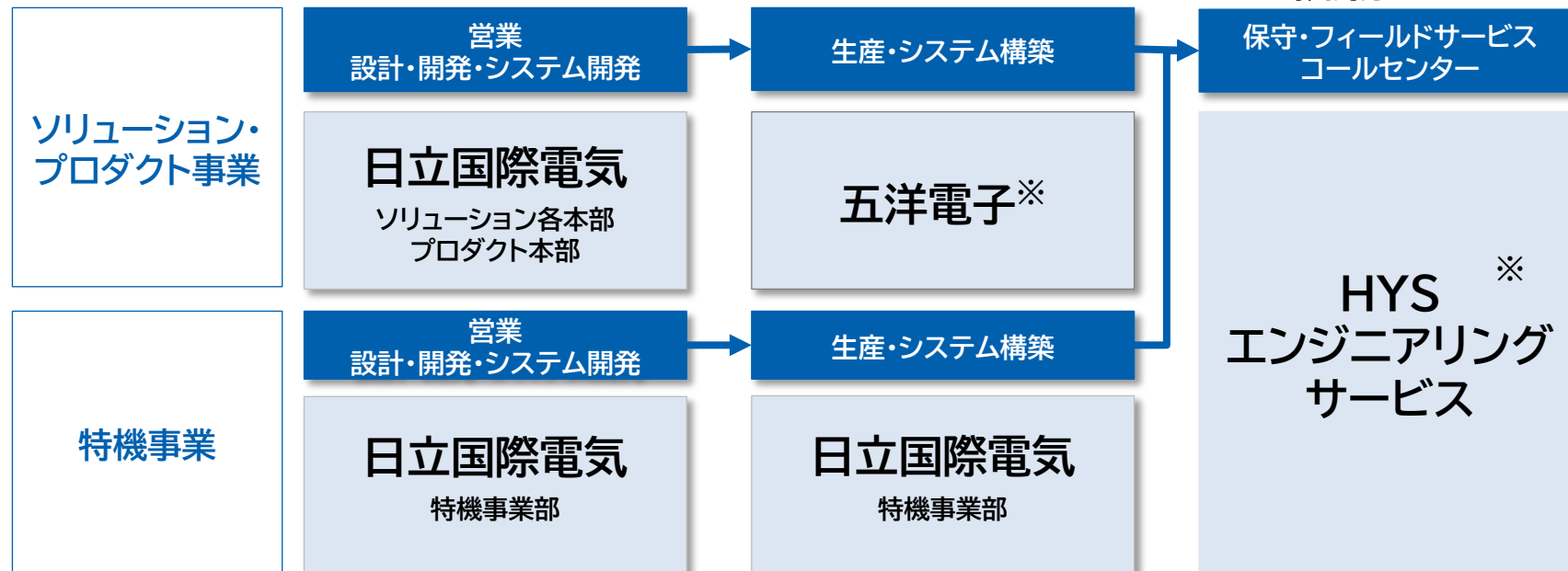
開発・生産・保守までシステムライフサイクル全体を 日立国際電気グループ連携してワンストップで対応

- 製品・システムの受注、開発・生産から稼働後の保守サービスまでシステムライフサイクル全体にわたる業務プロセスの最適化を図り、日立国際電気グループ連携でのワンストップ対応を実現

- Hi-MAに基づく階層化・共通化設計
- 部材共通化などによるコスト削減

- 生産・システム構築におけるノウハウ・経験を活かして、高いレベルのQCDを実現

- 顧客納入後の保守・サービス体制の一本化
- コールセンターを活用した24時間対応



※: 五洋電子及びHYSエンジニアリングサービスは、日立国際電気の100%完全子会社

4つの強み ③ソリューションビジネスの推進

「モノ」から「コト」への変革をめざし、ソリューションビジネスを推進
DX領域へのビジネスに挑戦

- “三段跳び”オペレーションの推進
”ホップ””ステップ”から、“ジャンプ”へのシフトを加速



新事業（ジャンプ）

無線通信、画像処理等のコアコンピタンスを活用、顧客課題にアプローチし
省人化・自動化・生産性向上 など **価値創造ソリューション** を提供



IT活用（ステップ）

運用ライフサイクル対応で得た経験値を活かし 高まるニーズに対応するため
従来のビジネス に **ITを融合させて** **様々な課題を解決**



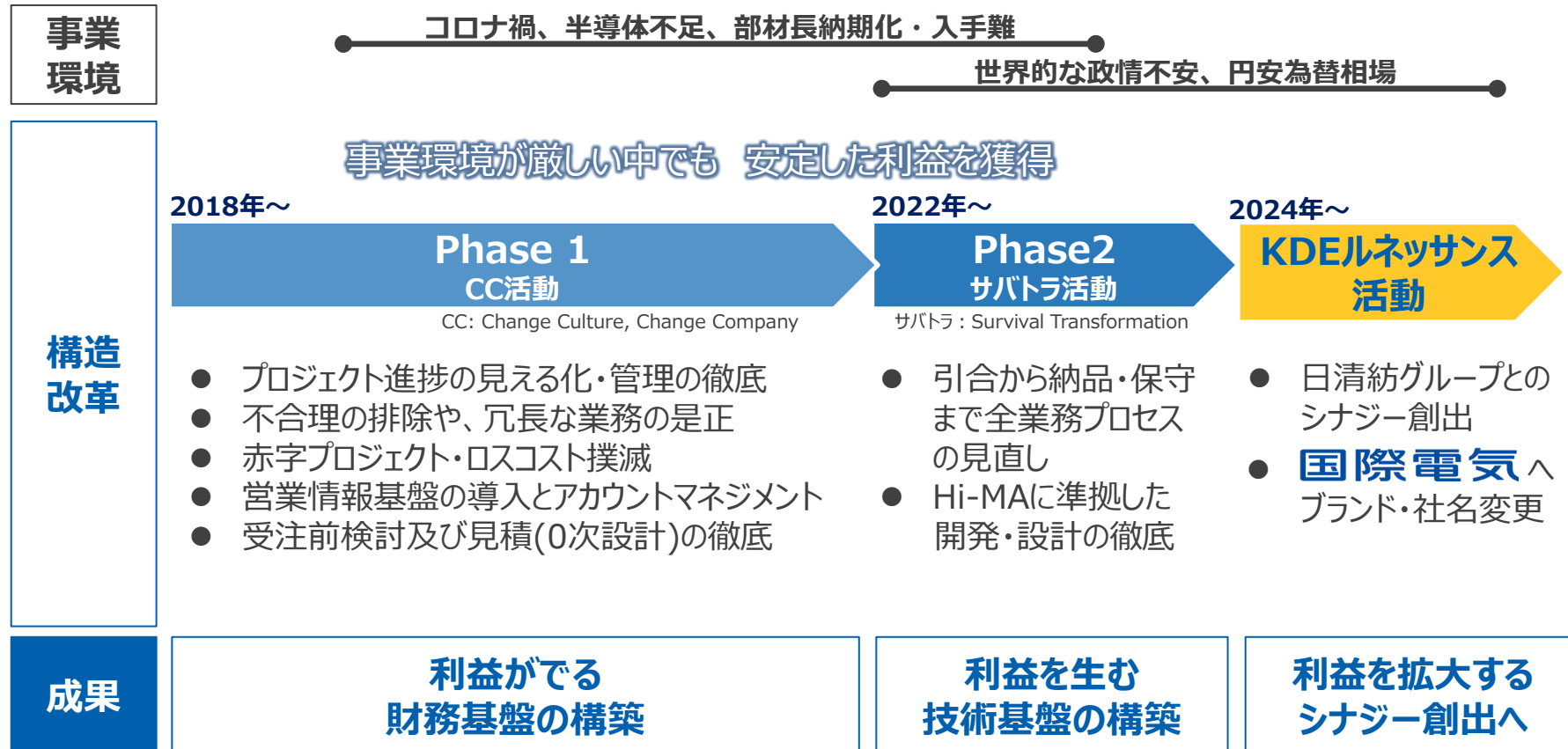
従来事業（ホップ）

製品・システム導入だけでなく **稼働維持の為に保守サービスなど** を
ユーザーへ **事業価値として提供** し 運用ライフサイクルを支援

4つの強み ④継続的な構造改革の推進

非上場化以降、事業基盤の強靱化をめざし 構造改革を継続的に推進

- CC活動やサバトラ活動を経て、筋肉質で持続可能な企業体質へ変革
- KDEルネッサンス活動により、日清紡グループの一員としての更なる進化に挑戦



- 買収後のPMIを経て、現在、日清紡グループの無線・通信事業戦略を立案中です
- また、日清紡グループの新研究体制について無線・通信事業中心に発足させる準備中です



トピックス

最近のトピックス

「防災業務支援サービス」を提供開始

- 自治体で定める行動計画や事案情報、避難所管理、職員の意思決定に関する発令判断や情報把握を支援
- 業務指示や進捗確認、災害対応時の情報集約における負担を軽減
- 平時から災害発生前後まで広範な防災業務プロセスで利用、各自治体に適した導入の支援から、運用後の専門オペレータによるサポートを提供

(2024年7月)



Sharing Design社による、ローカル5Gとキャリア5Gの両方に対応した日立国際電気製のアンテナ共用機(DAS)を導入開始

(2024年7月)

- 本製品はキャリア5Gとローカル5Gのサービスエリアの設計・整備を同時に行うことができるので、別々に検討しなければならなかったこれまでに比べ、最適且つ効率的に同作業を行うことが可能
- 建設施工業界では作業員の高齢化や労働人口の減少、資材の高騰が問題となっていますが、1つの製品に集約することで、作業効率の向上が図れると共に、資材や配線工数の削減による施工費用の低減や、省スペース化、省電力化などが実現

最近のトピックス

スマートファクトリーソリューションの開発 (2024年4月)

- 当社コアコンピタンスの「センシング」「データ伝送」「AI解析」にIT技術を加え、顧客のDXを加速するソリューションを提供中
- 産業分野向けには、スマートファクトリーソリューションを展開第一弾として「ローケーション・マネージメント・サービス」を発売
- 各センサーで収集した・モノの位置情報をリアルタイム伝送、可視化して表示、現場のリソースを一元管理
- お客様の情報システムと連携し、現場オペレーションの高度化を実現



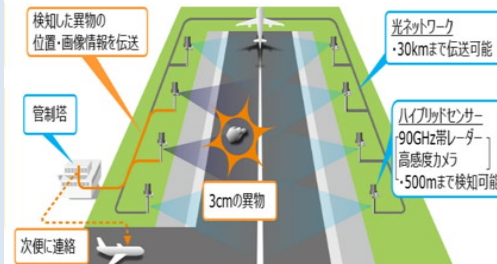
第35回「電波功績賞 総務大臣表彰」受賞

(2024年6月)

- 一般社団法人電波産業会より、「90GHz帯 滑走路面異物検知システムの開発と実証」の取組が評価され、第35回「電波功績賞 総務大臣表彰」を受賞
- 90GHz帯レーダーシステムの開発・実証による航空機の離着陸時安全性確保、国際標準化(ITU-R WP5B)推進による社会実装に向けて日本とマレーシア間の産学官連帯スキーム構築など電波の有効利用に大きく貢献

90GHz帯ミリ波レーダーを活用して空港の滑走路面に落下している金属片等の異物を検知するシステム

- 滑走路面に落下している異物により航空ダイヤ遅延、滑走路閉鎖、上空待機便増加抑制効果
- 3,000mの範囲にある異物を10秒で検知する高性能が評価される



日立国際電気

補足資料

事業概要

- ソリューション事業（DX事業/基盤事業/鉄道関連事業）
- プロダクト事業
- 特機事業

ソリューション事業 - DX事業

【DX事業】

産業分野を中心にITやデータを活用したビジネスを展開

- 産業分野(製造、流通)を中心に、顧客協創により新事業創出につとめ、新たな顧客基盤の開拓に注力
 - 製造・産業ソリューション：他社協業やIT活用で商材拡充、顧客と協業し現場のDX化を進め見える化、グリーン化に寄与
 - 放送ソリューション：ITを活用した番組制作・コンテンツ管理を容易化するシステムを構築、運用を支援
 - 証券・金融ソリューション：業務フローを適正化し業務を効率化するシステムを構築、運用を支援

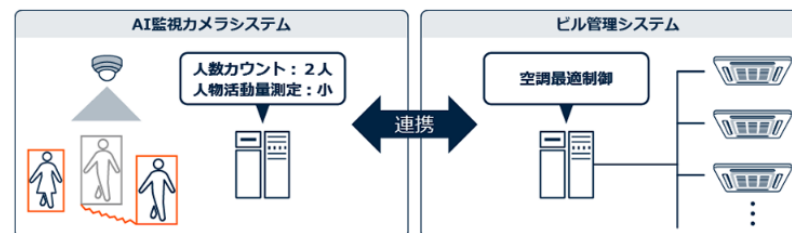
生産現場DX化、製造工程見える化、他

- 高まるDX・スマート化へのニーズの取り込みに向け、ノキアとの連携によるローカル5G技術を活用した新たなソリューションを提案



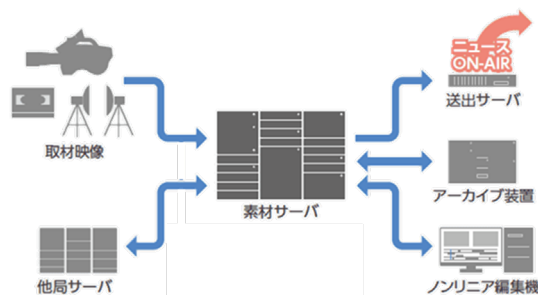
DXによる職場のグリーン・省エネ化

- 監視分野で培った映像技術・画像処理技術の知見を活用してAIを用いた映像解析の現場導入を推し進め、DXによる省人化、業務効率化ソリューションを提供



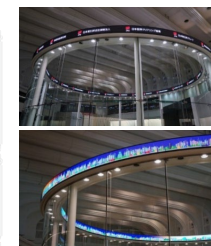
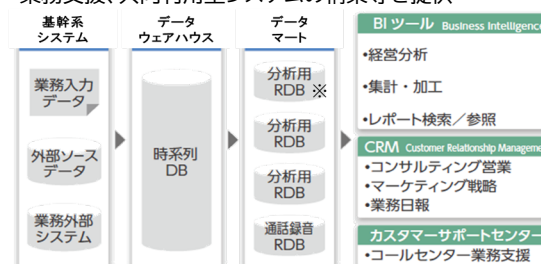
放送ソリューション：番組制作・コンテンツ管理を容易化

- 取材映像等の素材化、編集・番組ファイル制作、伝送までテレビ・ラジオ放送業務をサポート



証券・金融ソリューション証券・金融業務の効率化

- 証券会社、都銀・地銀等の金融業に向けたシステム開発・構築、運用サービス、業務支援、共同利用型システムの構築等を提供



東京証券取引所
大型LED「テッカー」

※RDB: Relational Database

ソリューション事業 - 基盤事業

【基盤事業】

官公庁・自治体、民間企業向けに既存事業を展開

- 公共、社会インフラ分野で長年にわたり事業展開してきた自営無線、映像監視システムを提供。近年、重要性が増す安心安全の確保に向けてIT活用による付加価値向上を図る
 - 防災無線ソリューション:自治体の防災・減災業務を支援する防災無線システムの構築、運用支援
 - 自営無線ソリューション:製造・重要設備の運用・管理を支援する自律型広域無線ネットワークの構築・運用支援
 - 監視ソリューション:自治体・国交省等へ災害予兆の検知、及びインフラ等の重要設備への不審者侵入の検知

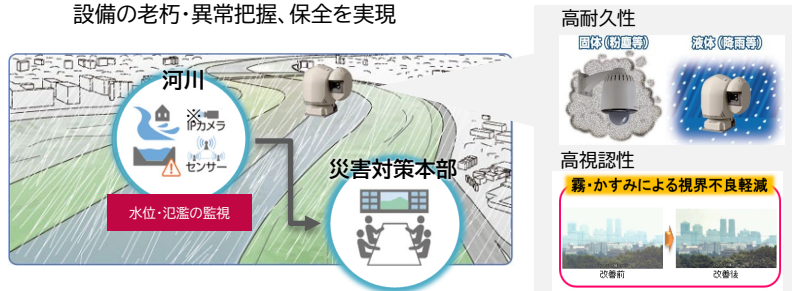
防災無線ソリューション

- 市町村防災行政無線や、デジタル地域防災無線システムで構成。災害時に役場の統制局と出先機関、防災関連機関等、必要な施設・設備間の連絡手段を確保、災害に係る情報の収集・周知を実現



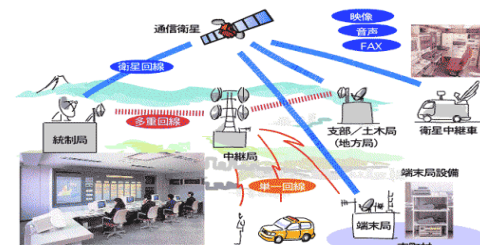
監視ソリューション - 河川監視や災害予兆の検知

- 屋外の厳しい設置環境でも24H365日運用に耐えうるカメラ、レコーダー、画像処理装置を組み合わせた監視システムで河川や道路の状態把握、重要施設・設備の老朽・異常把握、保全を実現



自営無線ソリューション - 消防無線など

- 基地局間同期機能、複数の無線通信規格の併用等、独自機能を具備する端末局、中継局、地方局、中継車、車載モジュール等で構成。広域に広がる複数の無線システムを統合・多様なデータ通信を実現



監視ソリューション - 重要設備の不審者侵入検知や異物検知

- 高感度の巡回カメラや画像解析ソフトウェアによる検知機能を組合せた監視システムで、重要設備・製造現場のセキュリティを担保(侵入者検知、作業員管理等)



ソリューション事業 - 鉄道関連事業

【鉄道関連事業】

鉄道事業者向けに無線通信・監視映像Solを展開

- 自営無線やミリ波、映像技術を活用した製品・システムを、鉄道事業者へワンストップ提供、運用も支援する事業
 - 列車無線ソリューション: 運行制御等で安全な列車運行を実現する車上局、司令局等無線システムの構築、運用支援
 - 列車監視ソリューション: 駅ホームや運行車内等の安全確認等を支援する監視システムの構築・運用支援
 - 顧客協創による新事業: AIや3Dセンサ等を活用した高度監視システムで駅構内の不審物検知や車椅子利用者等へのサービス品質向上を支援

鉄道の定時運行を支援

- 列車の運行指令/管理に係る地上及び車上搭載の無線システムと、列車運行制御に係る無線システムで構成



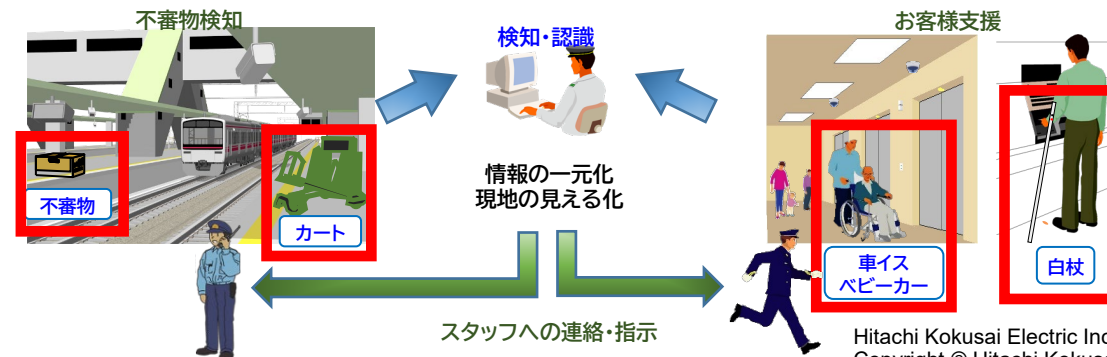
ホームや運行中の安全確認を支援

- ホーム監視・車内安全監視等を実現する監視カメラ及び無線伝送装置と、ワンマン運転、車両周りの安全性確認を容易にする映像伝送システムで構成



新事業: 不審物・放置物の検知、車椅子・白杖利用者への支援・サービス向上

- AI技術による物体検知機能を用いて、駅構内やホームなどの遺留物・不審物を検知して監視センターに通知し、現地スタッフに対応を指示する支援サービス
- 駅やホームで、鉄道利用者の安全性を確保するため、AI技術により車イスやベビーカー、白杖を持っている方々へのサポートを迅速に行う業務をサポート



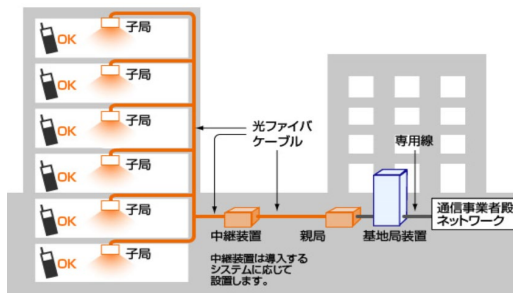
プロダクト事業

【プロダクト事業】 ソリューションコア(伝送・センシング・AI解析)製品を展開

- 無線や映像、放送技術を活用し、自社ブランド製品、システムの開発、製造、販売する事業
 - モバイル通信：通信キャリア向けモバイル通信用部品、通信アンテナ共用設備等の製造受託、及び屋内用モバイル通信システム、無線伝送機器等、自社ブランド製品を販売、運用を支援
 - 映像機器：放送局や番組制作会社向け高精細(4K)カメラ及びレンズや雲台等の周辺機器を販売。製造業や物流業等産業分野向けに、検査装置に組み込む産業用カメラや監視システム用の映像装置を提供
 - 放送機器：放送局へ番組制作用の収録素材を送受信する無線伝送装置や送信機を提供、運用を支援

モバイル通信

- オフィス、地下街等、電波の不感地帯を解消する基地局周辺装置
- 親局と子局を光ファイバケーブルで結び、ビル全体でモバイル通信可能な環境を構築



屋内空間用モバイルシステム

映像機器

- 高精細・高画質の番組作成に適した放送局・番組制作会社向け高精細(4K)カメラ
- 低消費電力で小型軽量化した産業用カメラ
- 遠距離、悪天候、光度不足的环境下でも被写体が鮮明に見える監視用カメラ



フル4Kカメラ



監視用カメラ



産業用カメラ

放送機器

- 放送する番組素材をスポーツやニュースの現場から放送局へ送る無線伝送装置を提供
- テレビ放送信号を安定した送信出力で届ける送信機を提供



無線伝送装置



送信機

特機事業

【特機事業】

耐環境性・運用状況など様々な場面に適用する装備品の提供

- 防衛省に向け、自衛隊の日々の活動で運用する通信システム、航空機の飛行において必要不可欠な航法支援システムなどのアビオニクス、有事に備え実施される訓練を支援して効果を向上させる訓練システムを提供

中期防衛力整備計画※の基本方針における4つの優先事項と特機事業セグメントとの関連

4つの優先事項		特機事業セグメント	日立国際電気が有する技術・実績
1	次世代電子戦システム	1 通信セグメント	- 運用目的や耐環境性に適した装置やシステムの提供 - 高度な電波技術を応用した電子戦市場への参入 製品： 艦船向けソフトウェア無線システム、基地用通信装置 等
2	省人化への積極投資	2 教育訓練セグメント	自衛隊独自の運用に精通し、訓練効果の高い訓練システムを長年提供 製品： 陸上自衛隊向け訓練用システム 等
3	機動展開能力の強化	3 アビオニクスセグメント	- 機動力・展開能力に寄与する電子機器の豊富な納入実績と高い設計・開発技術 - 航空機搭載電子機器整備のリーディングカンパニー 製品： 航空機用無線装置及び航法装置、整備用システム 等
4	維持整備強化		

日立国際電気

NISSHINBO

